

# 第一回臨時会・第二回定例会

補正  
1号

## 第一回臨時会(4月26日) 補正予算第1号に賛成



2020年度末の国会および都議会の補正予算に計上された生活支援給付金などを迅速に事業化し、給付などを行うため臨時会が開かれた。補正予算第1号には下記の事業費が計上され、可決した。

- ・ひとり親世帯への特別給付金(国)【※】1億400万円余
- ・子育て世帯への商品券配布(市) 3億1700万円余



商品券と一緒にコロナ禍における子育て家庭の状況調査アンケートが送付されます。今後の支援策に活用されるので、ぜひ声を届けてください。

- ・キャッシュレス決済ポイント還元・プレミアム付商品券事業(都補助金など) 12億8600万円余

補正  
2号

## 第二回定例会 補正予算第2号に賛成



- ・新型コロナウイルスワクチン接種関連費用の増額(国)4億1100万円余
- ・ふたり親の非課税世帯などへの特別給付金【※】(国)1億7200万円



※ひとり親、およびふたり親世帯対象の給付金は、新型コロナの影響で収入が児童扶養手当受給者と同水準となっている方も対象です。申請が必要ですので、詳細を市のHPでご参照ください。相談は子ども家庭課(042-481-7093)まで。



ひとり親世帯  
給付金



ふたり親世帯  
給付金

上程時  
質疑

## 指定管理者制度導入施設の 経営状況について

指定管理者制度導入施設の管理を受託している監理団体のうち、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団、調布市体育協会、および公益財団法人ゆうあい福祉公社の経営状況について質疑を行った。

◆2019年度に市の直営から指定管理者制度に移行したせんがわ劇場での、当初の市民の参加と協働による事業運営の特徴を生かした取組みの現状を問い、継続・拡充を求めた。

◆市が委託している劇団員による演劇アウトリーチ事業は、生徒のコミュニケーション能力や表現力向上に効果を上げている。コロナ禍でストレスを抱える子ども

たちの自己表現の機会創出に演劇アウトリーチ事業を生かす新たな取組みを求めた。

劇団員が指導するアウトリーチ事業の楽しさが伝わってくるPR動画



◆ハラスメントや暴言、暴力の存在が顕在化してきたスポーツ界においてオリンピズムの理解促進は不可欠。体育協会では人権尊重に配慮したスポーツ指導や応援指導などを行っており、SDGsの平和なまちづくりにも資する取組みと評価。市との連携で暴力のないスポーツの発信を求めた。

◆ゆうあい福祉公社の経営の健全性、サービスの質と料金負担のバランスは良好と確認。地域包括ケアシステムの中心的な役割を果たすとともに、住民とのつながりを軸とした実践と積極的な事業提案を求めた。

陳情

## 陳情を審査しました



◆第48号【調布市に東京2020オリンピック・パラリンピックからの撤退を求める陳情】<審議未了>  
採択:ネ・共 不採択:自・公・維 趣旨採択:チャ

◆第50号【東京外かく環状道路本線シールドトンネル工事によって発生した東つつじヶ丘2丁目周辺の地盤損傷範囲を特定するための地上からの深層ボーリング調査範囲の拡充に関する陳情】<継続審査>  
採択:ネ・共 継続審査:自・チャ・公・次

住民の要望に応え、ただちに事業者へ地盤調査の拡充を求めるべきと採択を求めたが、継続審査となった。

議員  
提出議案

## 生活者ネットワーク提案の意見書2案は、 賛成少数で否決!



◆【沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を辺野古新基地建設の埋立て等に使用しないよう求める意見書】  
賛成:共・立 反対:自・チャ・公・次・維

◆【気候変動を抑制し、安全で持続可能なエネルギー政策の推進を求める意見書】  
賛成:共 反対:自・チャ・公・次・立・維

## 所属委員会が変わりました

任期後半の2年間は、文教委員会と広域交通問題等対策特別委員会への配属が決まりました。文教委員会は教育部と生活文化スポーツ部が所管する教育、文化、スポーツ、産業、農業、男女共同参画などに関する議案を審査、特別委員会は外環道トンネル工事問題を審議します。お声をお寄せください。